

様式3

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度第3回相模原市文化財保護審議会		
事務局 (担当課)		文化財保護課 電話042-769-8371 (直通)		
開催日時		令和6年2月22日(木) 13時30分～15時30分		
開催場所		ウェルネスさがみはら 7F 視聴覚室		
出席者	委員	11人(別紙のとおり)		
	その他	2人(株式会社フジヤマ)		
	事務局	4人(天野課長、堂園担当課長、中川主査、村田主事)		
公開の可否		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合、その理由		相模原市情報公開条例第7条第1号及び第3号に該当する非公開情報に関して審議するため。		
議 題		<p>(1) 相模原市指定文化財の指定に係る答申について</p> <p>(2) 相模原市文化財保存地域計画に係る諮問について</p> <p>(3) その他</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり

議題 1 相模原市指定文化財の指定に係る答申について

- ・相模原市情報公開条例第7条第1号及び第3号に該当する情報を審議する為、議題1について非公開とすることを決定した。
- ・第2回相模原市文化財保護審議会にて文化財指定の諮問をした文化財2点について事務局から説明ののち、答申が行われた。
- ・上記2点については、指定文化財とし今後の保存と活用をはかること、また審議の内容を踏まえて答申書を教育委員会へ提出することとなった。

議題 2 相模原市文化財保存地域計画に係る諮問について

- ・地域計画の内容（序章～第3章）を読み進めながら質疑応答を行った。
※第4章以降は来年度の審議で意見をいただく予定である旨を伝達した。
- ・次回の開催について7月頃に開催予定である旨伝達した。

主な内容は以下のとおり。

○序章について

（宮本委員）計画の目的は何なのか

（事務局）文化財をどのように今後守っていくのかという大きな課題がある。それを解決するために計画・策定するのがこの地域計画である。文化財は調査・保存・活用の三位一体で考えていく必要がある。

（宮本委員）天然記念物で考えると指定したものの看板だけあるようなものもある。そういうことがないようにこれまで指定されてきたものを再確認してそれをどのように使っていくのかを検討するということか。

（事務局）天然記念物に即して言えば当然そのようなことも考えられる。

（宮本委員）地域ごとに残していかなければならない自然環境や個体があると思うがそういったものの新たな指定等はこの中に含まれていくのか

（事務局）これまでは指定・登録文化財に焦点が当てられていたがそれだけでは地域全体を語ることはできないので未指定のものも考慮しなければならない。そのためにも把握調査を行い、未指定のものリストアップをすることが求められる。その中からどういったものを指定するのか、また、どういったものの活用を地域の方と考えていくのか等をこの計画の中で考えていく必要がある。

（宮本委員）この計画は誰に見せるものなのか。

（事務局）市民、国民に対してのものである。

(宮本委員) それであればできる限りカタカナ文字を減らす必要があると思う。

(事務局) 意識して文章を組み立てていきたい。また巻末には用語の解説を入れていきたい。

(鹿野委員) 序-12 について 点検評価については審議会で 1 年間に 1 回ほど行うということで理解したが、教育委員会で点検したものを審議会へ報告を受ける形になるのか、審議会で協議したものを教育委員会で検討してもらえるのか具体的な流れを教えてください。

(事務局) 教育委員会の点検評価は前年度のものを行う。教育委員会の点検評価は地域計画すべてを点検・評価に加えるわけではなく教育振興計画に盛り込まれている内容に対して点検・評価が行われる。審議会では年次計画（アクションプラン）について前年度分を確認しながら今年度・来年度どのようにしていくかという話をさせていただきたい。

(海老澤委員) さがみはら地域遺産がキーワードになると思うが「さがみはら」がひらがなになっている背景を教えてください。

(事務局) やわらかくしたいということと、古い時代も含めてすべてが対象であるという意味合いである。

(浜田委員) 序 14 について さがみはら地域遺産の概要図で自然遺産は触れなくてよいのか確認したい。

(事務局) 歴史文化の中で自然文化に関わるものも含めて考えている。

(山崎委員) 序 14 について 歴史的地名や偉人の事績の二つは具体的であるが、伝承だけざっくりした単語で違和感がある。もう少しふさわしい言葉があるのではないかと思う。図の伝承の具体的なイメージを教えてください。

(事務局) 相模原市内には多くの伝承が残されている。例えば鹿沼公園では市の登録史跡として、でいざらぼっち伝承地がある。それらが相模原の歴史文化を語る 1 つの要素というところで上げている。

(山崎委員) 口頭伝承で昔話や伝説のイメージだということと理解した。伝承というよりも他の二つに合わせてもう少し具体的な言葉の方がよいのではないか。

(事務局) 用語については再度整理をさせていただく。

(鹿野委員) 伝承という言葉を検討するということであれば、ぜひ自然環境や地質が入っていることが伝わるように見直してもらえると一般向けのより良いものになると思う。

(事務局) 記念物の類型の中に史跡・名勝・天然記念物が含まれているが、確かに一

般には記念物と言っても伝わらないのでわかりやすい形で修正したい。

(鹿野委員) 目次で「目指すべき方向性」の前に「将来像」が来るようになっているが、3章までを評価するような形になるのか。

(事務局) 文化財保存活用のあるべき姿を将来像として掲げている。

(鹿野委員) それは相模原市が目指すべき方向性となるのか。

(事務局) 最も良い姿であり、それにあたって現状どのようになっているのかを4章で説明がされ、方向性を決めていく。

(鹿野委員) 3章まででこれまでのことが客観的に並べられ、次に理想とすべき像があり、その次に現状がこのようであるという順序となるのか。

(事務局) そのとおりである。

(宮本委員) この計画は文化庁に出すのか。

(事務局) 市として申請する。

(宮本委員) 何らかの予算が付くのか

(事務局) 計画が認定されるとその自治体には補助金の補助率加算や優先的に採択されるなどの予算におけるメリットはある。

○1章について

(宮本委員) 生態系のところで植生と動物の書き方に差があるように感じる。

(事務局) 植物の書き方に合わせて動物も書き替えたい。

(宮本委員) 文中における混交林や雑木林の用語の使い方が気になる。学術的な物にするのか読み物的な物にするのかをはっきりする

(事務局) 用語を整理する。

(山本委員) (2) 動物の中に植物の内容が含まれている。

(事務局) 文章を整理する。

○2章について

(鹿野委員) 表2-1の把握調査について調査がいつ頃行われたのかが重要ではないか。

(事務局) 調査をいつ頃行い、どういった調査報告書が出ているのかを表形式でまとめていくつもりである。

(宮本委員) 新たに自然的景観を追加した方がいい。相模川の河岸段丘は特に貴重なものだと思う。

(事務局) 文化財保存活用地域計画作成検討協議会でも指摘があった。検討する。

(神崎委員) 2-1について、1960年代に相模原市史が刊行されており、それ以前に調査が行われていることがわかる。時代をさかのぼって記述をするべきである。

(事務局) 文化財保存活用地域計画作成検討協議会でも指摘があった。検討する。

(海老澤委員) 伝統的建造物群だとハードルが高く感じる。例えば上溝の辺りはところどころ古い建物があり、雰囲気周辺と違う。伝統的建造物群とまでは言えないが、街並みとしては文化的価値があると思う。そういったものを評価できるカテゴリがあっても良いと思う。

(事務局) 検討する。

(鹿野委員) 博物館の開館なども大きな成果だと思う。盛り込んではいかがか。

(事務局) 簡単な一文となるが、第2章第2節(1)に記載がある。

(山崎委員) 表2-1について、○と△の基準がわからないので明らかにする必要はあると思う。

(事務局) 2章で文化財の類型別にどのような調査があり、どこまで出来ているのかといった文章を入れていきたいと考えている。それに連動して表の△や-の説明を入れていきたい。

○3章について

(萩谷委員) 記載されている年代表記に不適當な箇所があるように思われる。

(事務局) 確認して修正する。

(浜田委員) 第3節のステージ0の本文について「富士山の高頻度による火山活動によって火山灰が降り注ぎ」とあるが箱根火山の方が多いのではないかと思うので確認してほしい。また、ステージIVについては戦後事業に重きを置いた方がいいのではないか。再検討してもらえると良い。

(事務局) 検討する。

(山崎委員) 未指定の文化財について、民俗文化財の写真が有形・無形の写真の系統が似ている。有形を養蚕の道具やくわなどの写真にした方がバランスが取れてよいのではないか。

(事務局) 同じ系統が続いてしまっているので再検討させていただく。

(宮本委員) 自然景観などは今調査しないと時間経過とともに環境が損なわれてしまう。新たな指定に必要な資料の作成も積極的に進めていくべき。6万件の未指定文化

財の整理だけで手一杯になってしまっは意味がないと思う。

(事務局) 地域計画の中では宮本委員ご指摘のように未指定文化財の調査をしなければいけないという課題がある。地域計画の中でその課題はきちんと提示をし、調査を行い、指定すべきものは指定をするということを4章でふれていくつもりである。

また、何を今後指定しなければいけないかについては地域計画とは別に取り組まなければいけないところだと考えている。できるところは地域計画と別で取り組んでいきたい。

(海老澤委員) 建造物について、リストアップの基準を教えてください。また、学界では戦後の建築の調査も進んでいる。近年の建物でも相模原市庁舎や相模原市体育館なども価値のある建築だと思っている。これらも相模原の遺産になると思うので目を配っていくとよりよいものになると思う。

(事務局) リストアップはこれまでの把握調査や調査報告書や市史・町史から拾い上げている。指摘いただいたような新しい時代の建造物は把握調査が進んでいないので4章で取り上げる課題として整理し、令和8年度以降にどういう調査が必要か年次計画で取り上げていきたい。

(神崎委員) 3-4 近世(江戸時代)で旧津久井郡に神原家についての記述があると良いと思う。

(事務局) 検討させていただく。

議題3 その他

協議事項はなし。

以 上

相模原市文化財保護審議会委員出欠席名簿

(令和6年2月22日開催)

No.	氏名	所属等	出欠席	備考
1	薄井 和男	中世美術史（彫刻） 元神奈川県立歴史博物館館長	出席	
2	内川 隆志	日本考古学 國學院大學教授	出席	副会長
3	海老澤 模奈人	建築史（近代建築史） 東京工芸大学教授	出席	
4	大崎 綾子	日本刺繍史、染織文化財（保存修復） 女子美術大学准教授	出席	
5	鹿野 陽子	造園学（景観） 岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授	出席	
6	神崎 直美	日本近世史 城西大学教授	出席	
7	萩谷 宏	地球科学（地質学・岩石学・地球史） 東京都市大学理工学部自然科学科・准教授	出席	
8	浜田 弘明	人文地理学 桜美林大学教授	出席	
9	宮本 太	植物分類・生態学 大学院専攻主任 東京農業大学農学部生物資源学科	出席	
10	山崎 祐子	民俗学 一般財団法人宮本記念財団理事	出席	
11	山田 正法	郷土史 元相模湖町文化財保護委員	欠席	
12	山本 雅子	発生学、解剖学（動物） 麻布大学名誉教授	出席	会長

任期は令和4年10月1日から令和6年9月30日まで